

今夜7時から 西成市民館3階 毎週金曜日

みんなで作ろう みんなの会館 三人よれば何ひかの知恵

夜間学校ニュース

1 連 西成区城之帯屋ス-5-23
2 結 解放会館3階 釜崎争議団会付
3 先 釜崎夜間学校

みなし適用、防衛なる!!

東京厚生省交渉の結果と

今後の更なる斗いを...

貧乏人の闘争はつらい。
一日、市民館に集った仲間は約八十人。東京・厚生省交渉へ参加した仲間には、前に出てくださいの呼びかけに、五十人ほどが...。釜崎日労・争議団のメンバーが十五人ほど先にきまっていたので、結局、失着順二十八人ほどの仲間が選ばれ、総勢四十三人。

東京へ行けない仲間からえらく、おこられた。ゼニがあれば、観光バスをつらねて、全員参加できるものを。まことに貧乏人の斗いはつらい。
山谷ではマンモス交渉前などでシグザグデモ。山谷にあるいは、釜崎、寿の仲間と合流して、ワッショイ、ワッショイと交渉会場へ。

首相官邸の門前で警備していた機動隊員はビツクリ、中にはピストルに手をかけたのもいるほどの緊張ぶりだった。

交渉には、社会党から三名の代議士と厚生省からは社会保険庁健康保険課奥村課長他三名、そして、四大寄せ場から集った仲間六五名全員が参加。

結果からいえば、釜の日健、みなし適用は防衛できた。奥村健康課長は、釜の仲間が印紙を貼ることなく日健を利用していている現実があることを認め、日健健康保険法が廃止されても、みなし適用はつぶさないと言明した。その是正は、適用事業所の拡大によっておこない、労働者にはシワ寄せ

しかし、現状での、印紙を貼っていないことを理由にした、差別的取扱に對する、我々の異議申立と要求は、時間切で勝ち

とるところまでいかず、今後の厚生省あるいは府との交渉課題として残された。
釜ほど日健が普及していない各寄せ場からは、寄せ場内に社会保険事務所の出張所をつくること、適要事業所を拡大することなどが要求としてだされ、課長は、各自治体と検討してみることを約束した。

さて、斗いの後半戦は大阪府の差別行政をどう打ち破るか、だ。チユらしほり、斗おう。

5.12東京厚生省交渉へ

前回、5月11日の夜間学校は金日労主催の「日健廃止・健保改善」集会に参加しました。会場の市民館3階の集公室は開始の7時には、すでに満員で会場に入ることができず入口で話しに耳を傾ける人も出てくるほどで、やや緊張した雰囲気の中で、報告・討論が進められ、最後に大勢の厚生省交渉参加希望者のうちから、25名の派団を選抜・結成し、9時前には、市民館前から12日10時開始の厚生省交渉へ向け「勝利号」に集結出発しました。

「政府は、七千億円の赤字を理由に日健を廃止しようとしているけれど、この赤字の責任はワシら日雇労働者には一切ない、現在の産業構造そのもののなかにこそ其の理由があるんや、ということを、何をいってもはっきりさせんといかんじ」

「釜では、白手帳所有者約一五千人、日健の資格者約九千人やけど、他の寄せ場ではどうなっているのか」

「釜では、白手帳所有者約三十人、日健自体知らない人がほとんどやし、寿でも同様やな、山谷では白手帳の方は約八千人、日健の方は取扱・発行する機関がないというのが現状や」

「結局のところ、日健健保自体が全国的にみたら適用されてないということやな」

「釜での日健資格者九千人というのも固定的ではない、一万三千人くらいのが増え、だいたい九千人くらいが順ぐりに有資格ということや」

「認定資格による見直し適用は十三年間続いているけど不安定なもんやし、玉出の社会保険事務所でのやり方も問題が多い」

「八二年には、例の就労申告書も廃止されてしまった」

「こういった現状から、厚生省交渉での要求、獲得目標は次の三つになる」

- 一 日健健保廃止反対
- 二 日健健保を全国四大寄せ場で適用し、より医療保障の充実
- 三 見直し適用へ大阪特別対策方式を急進せよ

「きりんとした保障を要求していくと同時に、今までのあり方

もバクローしていかねかんじ」

「組合なんかへ医療相談に来る人はみんな日健の資格がないわけやけど、大人数になる、入院でもしたら平均三十四万円くらいいる。この一割三万四千円が自己負担になつてしまふ」

「日健がなくなつたら生保・野タレ死にしかない」

「今回の厚生省交渉という場が作られたのは、音落解散同盟矢日支部が社会党の和田代議士を紹介してくれ、つたからや、その背景には、四月の四千人署名と釜での闘争歴史がある」

「それに社会全体にある行政改革反対のウネリがある」

「府議会への請願に対する賛同署名には、総評・自治労なんかの協力もある」